

令和 8 年 5 月 22 日 午後 4 時 45 分受領

令和 8 年 5 月 22 日

日出町議会議長 阿部 真二様

議員番号・氏名 12番 森 昭人

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問要旨	質問項目	備考
1. 土葬墓地問題について	<p>これまで、埋葬に関する将来に向けた制度化や基準化に対する一貫した考えを本会議の討論や一般質問を通じて訴え、町政報告や公式ホームページ、SNS上でも私の考えを発信してきた。この件につき、町内外の方から賛否双方多くのご意見をいただき、先の選挙期間中にも、政策批判を超えて議員の資質にまで踏み込んだ発言もいただいている。また、前回の一般質問では、私の質問内容や意見に対して理解不足を示唆する発言もあったことから、そのように受け取られているのであれば大変恐縮であると考えている。そこで、3月定例会での私の一般質問や全員協議会での議論、さらに同僚議員による過去の一般質問に対する執行部答弁なども踏まえ、本日は改めて整理を</p>	<p>1) 別府ムスリム教会への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年7月に別府ムスリム教会へ送付した文書の内容と、その法的整理は。 ・別府ムスリム教会に対し大規模土葬墓地を認めない、町有地を売却しないとした理由(根拠)は。 ・飲料水を汚染する恐れのない小規模土葬墓地であれば認めるとの考えがあるか。 ・トラピスト修道院の土葬は、どのような法的整理・許可のもと行われているか。 ・分筆委託費用相当額の支払いによる解決について、別府ムスリム教会との協議状況は。 ・行政の継続性や「信頼保護」の観点から、本件における訴訟リスクをどのように認識しているのか。 <p>2) 「埋葬を火葬のみとする条例」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「条例を制定したとしても無効であり、違憲・違法ということで訴訟を起こされると、確実に敗訴すると顧問弁 	



質問事項	質問要旨	質問項目	備考
	<p>しながら質問し、明確な回答をいただいた上で理解を深め、論点を精査し、私自身、この問題について今後どのような判断をしていくべきか、町民の皆さんにどう説明責任を果たしていくか、その材料にしたいと考える。</p>	<p>護士からはアドバイスをいただいている」ということだが、「確実に敗訴する」という表現は、実際に顧問弁護士が用いた表現なのか。口頭によるものか書面によるものかどちらか。また、書面が存在する場合、議会への提示は可能か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方で、中津市の条例については「訴訟になれば負ける可能性が高い」との趣旨の助言を弁護士の先生から受けたとしているが、その認識に現在も変わりはないか。 ・町としての公式見解は、「埋葬を火葬のみとする条例」は訴訟になれば確実に敗訴するとの認識なのか、それとも、敗訴する可能性が高いとの認識なのか。 ・町長は、「まず国に墓地埋葬法の改正を働きかけるべき」と発言しているが、これまで国や関係機関に対してどのような働きかけを行ってきたのか。また、今後どのように対応していく考えか。 	
<p>2. ふるさと納税について</p>	<p>第6次日出町総合計画の基本構想に掲げる「住民幸福度100%」「人口3万人」「町内総生産1,000億円」の達成には、戦略的事業を推進するための安定した自主財源の確保が不可欠である。その柱であるふるさと納税について問う。</p>	<p>1) ふるさと納税の推進について</p> <p>ふるさと納税は従来の枠を超え、まちづくり戦略と一体的に推進する考え方への転換が必要と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の寄付額は？ここ数年の取り組みをどう評価しているか ・寄附額拡大に向けた中長期目標の設定、事業投資と連動した活用方針、企業版ふるさと納税や外部専門人材の活用を含め、今後、どのような考えと体制でふるさと納税を推進していくのか。 	